

本部機能を移転した吉備国際大学



Q. 高梁市発の高齢者の支援、見守り施策を!

A. これからは地域で支え見守って行かなければならない



ここを聞きました!

妹尾 直言

- 学校法人順正学園について
- 医療・福祉施策の展開について

全国に先駆けた高齢者福祉モデルを

妹尾 現在、川上地域で川上診療所の入院施設を改造して高齢者支援施設(高齢者住宅)が整備されている。この行政、医療機関そして地域住民が協力した医療福祉施策の展開は全国に先駆けたモデル的なものであり、これからの高梁市の主要施策として取り組んでいくことが必要ではないか。

副市長 今までは高齢者の介護等は家族で支え見守ってきたが、社会構造の変化もあり、これからは地域で支え見守っていかなくてはならない。

市長 高梁市は医療環境には恵まれている。これらを見守らせたいようにしなければならぬ。

順正学園との関係は?

妹尾 順正学園(吉備国際大学)の岡山市への本部機能移転については、高梁市へ事前連絡があったのか。また高梁市への影響はどのようになっているのか。公私協力方式で大学を誘致し、60億円にも及ぶ市費を投じている。現在も年間1億円もの支援をしているのに、「順正」という高梁の歴史あるブランドを取られ、本部機能の移転までサツサとされて「ハイそうですか」では済まされないのではないか。

総務部長 大学からは、建物が老朽化し耐震強度にも問題があるので、本部機能の一部を移転するという連絡はあった。市としては今後も大学とより良い関係が続けていく。

Q. 県道新見川上線道路改良の早期着手を求める

A. 川合側からの改良について平成25年度から事業化する



ここを聞きました!

内田 大治

- 町内会活動奨励金制度について
- 県道新見川上線道路改良について
- 平成25年度機構改革について

県道新見川上線道路改良について

内田 新見川上線は、高梁市と新見市を結ぶ重要路線であるにもかかわらず、備中町井川から川上町川合間に未改良部分が約4.7kmある。特に川合から1km部分は幅員も狭く豪雨時には全面通行止めになる。県との交渉の現状はどのようになっているのか。

産業経済部長 市でも本路線は西部地域の重要路線と認識しており、毎年道路改良の要望をしている。

内田 用地交渉が難航しているのであれば、川上町川合側から改良工事に着手する要望もすべきではないか。

産業経済部長 県の計画では、平成25年度に公共事業評価の見直しを行い、事業化する方向で進んでいる。

平成25年度機構改革について

内田 旧4町に設置されている地域局を本庁市民生活部に統合することが効果的な市政運営の推進になるのか。

市長 地域局は現行と同じ体制である。局長は次長級を配置する。4地域局の横のつながりを密にして一体感を持たせ、その調整役を市民生活部長が行う。このことで市政運営がより効果的になると考える。

内田 地域局は地域における行政の拠点であり、縮小し弱体化させていくべきか。周辺地域の産業振興に目を向けていただきたい。そのために地域局は統合するのではなく反対に充実させるべきだと思う。

総務文教委員会

高梁市事務分掌条例の一部を改正する条例の審議では、政策監を市長の直轄にすると、市長権限が強まることになり反対との意見と、大型事業がめぐる押しの中で、今回の改正は理解できるとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。



文化センター南側の市有地

高梁市一般職の任期付職員

化し独断で進める方向もできなくなるから反対との意見と、さまざまな課題があるなか、5年の任期で幅広い考え方で適任者を選ぶことは理解できるとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。



図書館建設候補地となっている駅前バスセンター

平成25年度高梁市一般会計予算の審議では、図書館建設について、十分な説明ができていない中で、今後、慎重に取り組んでいきたいとの本会議での市長発言を踏まえ、

教育委員会の考え方、場所の選定までの経緯、経過について説明を求めました。

執行部からは、図書館は大勢の方の利用が一番で、駅前には利便性に優れている。雑音や安全面等の諸課題は、フロアのすみ分けをし、機能面を充実させ克服したいとの答弁がありました。

また、建設計画策定委員会で協議経過は、候補地を駅前バスセンターと文化センター南側の市有地に絞り込み、意見交換の中で、駅前バスセンターがよいという意見が多く出され、検討した結果、今回予算計上しているとの説明がありました。

委員から、建設場所について再考を求めたところ、執行部からは、市民の意見を聞きながら再度2カ所の候補地で検討

したいとの答弁がありました。

委員からは幅広い世代、さまざまな職種の方などから多くの意見を聴取するとともに、図書館司書などの人員の整備やサービスの充実を強く求めました。

採決に当たっては、大学に關係する予算が含まれ反対するとの意見と、図書館建設の予算について、議会の議論はもちろん、市民間の議論、教育委員会、市役所内部での十分な議論を尽くして方向性を示すことを執行部に求め、賛成するとの意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

なお、私学に対する補助及び助成の御願いの陳情書は、もう少し実態を調査して判断すべきであるといったことから、継続審査としました。

産業経済委員会

平成25年度高梁市一般会計予算の審議では、高梁駅バリアフリー化関係について、JRとの協議状況の説明を求め、執行部からは議会に出された意見についてJRと協議を進めている。特に外観や駅前広場については、案が確定する前に議会へ示し、協議していくとの答弁がありました。

また、駅東側にあるコインパーキングの今後の方向について説明を求め、執行部からは駅東側の街路が完成する平成26年度末には東側広場として整備することになるが、その間はなるべく使用できるようにしていきたいとの答弁がありました。

指定管理者の指定では、各施設の現状説明を執行部に求めるとともに、問題点や改善点を委員が提起しました。採決では、付託された議案すべてを全員一致で可決しました。